

ふたりのマエストロ

I Due Maestri

奏者と作家のレクチャーコンサート

2016.05.18

Open.18:30 / Start.19:00

ヤマハホール（ヤマハ銀座ビル）

【出演者】

永石勇人：楽器作家

宮田大：チェロ

森田啓佑：チェロ

鳥羽亜矢子：ピアノ

【プログラム】

- サン＝サーンス：白鳥

- グラズノフ：吟遊詩人の歌作品 71

- エルガー：愛の挨拶

- ポッパー：妖精の踊り

- ブルッフ：ケルト旋律によるアダージョ作品 56

- ブルッフ：コル・ニドライ

- ヘンデル：2つのチェロのためのソナタ 作品 2 の 8 番

【主催】

haja&Chi di HAYATO NAGAISHI

国際音楽交流研究所

【チケット】

全席指定：3,500 円（税込）

公式オンラインショップにて 3/15 先行発売

<http://daimiyata.buyshop.jp/>

一般発売日：3月30日（水）

イープラス / <http://eplus.jp/>

東京文化会館チケットサービス / 03-6585-0650

スピカ / 03-3978-6548

（チケットに関するお問い合わせ：スピカ / 03-3978-6548）

永石勇人 (ながいしはやと) : 楽器作家

1982年生まれ。日本人チェロ作家。工房をクレモナにかまえる。

2001年に渡伊、クレモナのヴァイオリン制作学校に入学するも、伝統的なイタリアの技術と精神を学ぶためイタリア人の為の名門、ミラノ市立弦楽器製作学校に編入、名工エルカ・プリモンに師事する。卒業後、現代最高のチェロ作家シルビオ・レバッジに出会い、研鑽をつむ。レバッジの工房時代、フランスのフランク・ラバタン、カナダのライモンド・シュレイヤー、アメリカのウィリアムスコットなどクレモナ外の名工達と知り合う事にもなる。

ロストロポーヴィッチコンクール（楽器制作部門あり）の姉妹コンクール、ヴァテローではクレモナ勢最高位の4位に入賞。審査員だったラバタンは『楽器がいい。シルビオの弟子とすぐ分かった。20代で自分を超越る気か。』と絶賛した。

VSA（アメリカヴァイオリン製作者協会）のワークショップにてサムエル・ジグムントーヴィッチをして『信じられない。工作がいい。ニスがいい。』と言わしめる。

イタリア伝統的弦楽器制作を続けるかたわら、クラシックにとどまらず、2015年ジャズ・ポップスヴァイオリンの巨匠、中西俊博とのコラボレーションによって産み出されたダブルネックヴァイオリンは楽器のスタイル、音とも完全な自身のオリジナルで永石の創造の結晶である。楽器の見識を深めるために、バロック時代の楽器の考察にも余念がない。バロック・ヴァイオリンも制作し、バロックチェロを知るためにヴィオラ・ポンポーザ（スパッラ）も制作している。

haja Chi
Play with your emotions

ヴィオロンチェロ・イタリアーノ

- チェロの話 -

黄金期、クレモナでは腕ききの職人がこぞってチェロを作っていた。

現在のチェロを最初に作ったのはニコロ・アマティとその弟子、ルッジェーリたち。

そしてかのストラディヴァリは生涯チェロに奮闘していた事実。

時代、音楽に合わせて最も変化をとげた楽器、チェロ。

木の選び方やストラディヴァリのニスの秘密は日本の染め物にもヒントがあった・・・など、

21世紀になってさらに可能性をひろげるチェロの魅力を実代楽器作家「永石勇人」が語る。

そして現在実力・人気第一人者、宮田大、若手チェリストの注目株、森田啓佑が永石の楽器を奏でる。

宮田大 (みやただい) : チェロ

3歳よりチェロを始める。9歳から日本音楽コンクールを含む出場するすべてのコンクールに第1位入賞する。第9回ロストロポーヴィチ国際チェロコンクール（パリ）で日本人として初優勝。桐朋学園音楽部門特待生、桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコース首席卒業。ジュネーヴ音楽院卒業、クロンベルク・アカデミー修了。

チェロを倉田澄子、フランス・ヘルメルソンの各氏に師事する。国内外での活発なコンサート活動をする一方、国際チェロコンクールの審査員にも招待されている。テレビ出演や雑誌での活躍もめざましい。

使用楽器は上野製薬株式会社から貸与されている1698年製ストラディヴァリウス“Cholmondeley”

オフィシャルサイト：<http://daimiyata.com>

森田啓佑 (もりたけいすけ) : チェロ

埼玉県出身。3歳より佐藤明氏の下でチェロを始める。

2007年第7回泉の森ジュニアチェロコンクール小学生の部にて最年少で金賞を受賞。2013年桐朋女子高等学校音楽科に特待生として入学。2014年第68回全日本学生音楽コンクール1位、同年第83回日本音楽コンクール1位、あわせて徳永賞、黒柳賞、岩谷賞（聴衆賞）も受賞。

これまでに東京フィルハーモニー交響楽団との共演をはじめ、NHK大阪ホール「クラシック大好き～N響メンバーと新進演奏家の出会い」、横須賀芸術劇場「フレッシュ・アーティスト from ヨコスカ」、白寿ホール「向山佳絵子 & 長谷川陽子プロデュースチェロ・コレクション」、NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」等へ出演。倉田澄子、常光聡、宮田大、諸田由里子の各氏に師事。

宗次エンジェル基金/日本演奏連盟奨学生。

鳥羽亜矢子 (とばあやこ) : ピアノ

東京藝術大学音楽学部を経て、インディアナ大学にて研鑽を積む。渡米後、巨匠ヤーノシュ・シュタルケル氏のアシスタントピアニストを務めた他、インディアナ大学より推薦され、ケネディーセンター・テラスシアター（ワシントンD.C.）でのミレニアムコンサート等、多数出演。2005年同大学にて、ヤーノシュ・シュタルケル、ミリアム・フリード両特別教授クラスの非常勤伴奏講師（専属クラスピアニスト）を兼任。2006年帰国。以降、室内楽演奏会、リサイタル、CD録音、NHK-FM等での共演、国内外の弦楽セミナー、コンクール、オーディション等の伴奏ピアニストを務めている。2008年4月～2016年3月、東京藝術大学音楽学部弦楽科及び指揮科非常勤講師（演奏研究員）を務める。